



壱岐
市立 一支国博物館

一支国博物館では、来る平成30年1月13日（土）から2月25日（日）まで、第39回特別企画展「発掘された日本列島2017展」を開催いたします。「発掘された日本列島展」は、今年度で23回目を数える考古学界の一大祭典です。全国では毎年約8,000件の発掘調査が行われていますが、本展ではこのうち特に注目すべき遺跡や新たに成果がまとまった遺物など、全29遺跡、約550点の資料を、全館を使い展示します。離島での開催は、沖縄を除き、当館が初となり、また、今年度の開催館としては、西日本唯一の会場となります。この、またとない機会をみなさまにご覧いただければ幸いです。

つきましては、別紙の通り、概要をお知らせいたしますので、ご多忙中とは存じますが、ぜひともご来場くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

催 事：第39特別企画展 発掘された日本列島 2017 展

会 期：平成30年1月13日（土）～2月25日（日）

場 所：一支国博物館 一部をのぞき全館

観覧料（常設展観覧料含む）：

一般 300 円、高校生以下 無料、満 70 歳以上 無料

※年間パスポート購入者 無料（同行者 5 名まで半額）

※障がい者手帳をご持参の方および介護者 1 名 無料

時 間：午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分（最終入館 午後 5 時）

休館日：会期中なし

展示品数：約 550 点

- 主催／文化庁、壱岐市立一支国博物館、長崎新聞社、全国新聞社事業協議会
- 共催／壱岐市、壱岐市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター
- 協力／全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
- 後援／全国史跡整備市町村協議会、壱岐市観光連盟



※つぎの内容について、別添資料をご確認ください。

◆概要 ◆主な展示品 ◆関連講座 ◆閉館スケジュール

◆ 概要

●「発掘された日本列島展」とは？

今年度で23回目を数える**考古学界の一大祭典**です。発掘調査や埋蔵文化財を広く紹介することで、考古学をより身近に感じ、理解を深めてもらうことを目的としています。全国では**毎年約8,000件の発掘調査**が行われていますが、本展ではこのうち特に注目すべき遺跡や新たに成果がまとまった遺物など、**全29遺跡、約550点の資料**を、全館を使い展示します。**離島での開催は、沖縄を除き、初となり、また、今年度開催館としては、西日本唯一の会場となります。**

●展示構成は？

「新発見考古速報展」「特集展Ⅰ 復興のための文化力ー東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護ー」「特集展Ⅱ 発掘された水中遺跡」「地域展」の、4つのテーマで構成されています。

新発見考古速報展

平成28年度に発掘された遺跡や、新たに成果がまとまった資料の中から、17遺跡、321点の遺物を展示します。

特集展Ⅰ 復興のための文化力

ー東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護ー

平成23年度より、東日本大震災からの復興と埋蔵文化財保護の取り組みが継続的におこなわれています。今回は、岩手県・宮城県・福島県の3つの遺跡を紹介します。

特集展Ⅱ 発掘された水中遺跡

日本は海に囲まれた国であり、海にまつわる歴史もたくさんうずもれていると考えられます。海をはじめ、湖も含めた水中遺跡の発掘調査成果などを紹介します。

地域展

海に囲まれた長崎県の“海揚がり遺物、展と壱岐島発掘速報・謎めく弥生集落“カラカミ遺跡、展

今年度の特集展Ⅱのテーマにあわせ、近年、元寇船などでも注目を受けている水中遺跡の本場・長崎県の“海揚がりの遺物、と、今年度も新発見が続く話題の弥生集落“カラカミ遺跡、を、地域の特色ある遺跡・遺物として展示します。

●「発掘された日本列島2017」展開催館

◎【東京都】

東京都江戸東京博物館
平成29年6月3日～7月23日

◎【青森県】

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館
平成29年8月5日～9月18日

◎【三重県】

三重県総合博物館
平成29年9月30日～11月5日

◎【愛知県】

安城市歴史博物館
平成29年11月18日～12月24日

◎【長崎県】

壱岐市立一支国博物館
平成30年1月13日～2月25日

E
t
A
r
c
h
i
p
e
l
a
g
o
2
0
1
7



◆主な展示品

新発見考古速報展

平成 28 年度に発掘された遺跡や、新たに成果がまとまった資料の中から、17 遺跡、321 点の遺物を展示します。

おんだし

押出遺跡 (山形県高島町)



漆塗り土器 浅鉢

口縁部には、関東地方の土器と同様に、一周する貫通孔があり、遠隔地との交流を示している。



漆塗り土器 壺

上から見ると角丸方形で、口縁部には貫通孔が一周する。口縁部を除き、赤色漆が塗られ、黒色漆で文様が描かれる。

しんめい

神明遺跡 (岡山県総社市)



銅鐸

裾の内側の突起がすり減っており、実際に音を鳴らして使われていた。

いしや 史跡 石屋古墳 (島根県松江市)



馬形埴輪

ズングリとした体形で、頭部や鞍、革帯などが極めて写實的。部分的に赤色顔料が残り、全体を赤く塗っていた可能性もある。

特集Ⅰ 復興のための文化力

— 東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護 —

平成 23 年度より、東日本大震災からの復興と埋蔵文化財保護の取り組みが継続的におこなわれています。今回は、岩手県・宮城県・福島県の 3 つの遺跡を紹介します。



34cm

こうね

高根遺跡 (岩手県宮古市)

縄文土器

大小の渦巻き模様が特徴的。

特集Ⅱ 発掘された水中遺跡

日本は海に囲まれた国であり、海にまつわる歴史もたくさんもれていると考えられます。海をはじめ、湖も含めた水中遺跡の発掘調査成果などを紹介します。



展示イメージ

かいようまる 開陽丸

(北海道江差町)

武器類 (ピストル、サーベル、日本刀など)
食器 (スプーン、フォーク、ワインカップなど)
船体部品など (双眼鏡など)

文久 3 (1863) 年、徳川幕府がオランダの造船所に発注し完成した木造の軍艦です。大政奉還後の明治元年 (1868)、江差の攻撃に向かった旧幕府軍を援護するため航行中、暴風雨のため座礁、沈没しました。外国の事例を参考に発掘調査が進められ、約 10 年かけて、船体、船具、大砲、銃、日本刀、生活用品など約 3 万点を引き揚げました。特に武器類は、古式銃砲から近代式銃砲への過渡を示す上で貴重な資料です。

地域展

海に囲まれた長崎県の“海揚がり遺物”展と
壱岐島発掘速報・謎めく弥生集落“カラカミ遺跡”展

今年度の特集展Ⅱのテーマにあわせ、近年、元寇船などでも注目を受けている水中遺跡の本場・長崎県の“海揚がりの遺物”と、今年度も新発見が続く話題の弥生集落“カラカミ遺跡”を、地域の特色ある遺跡・遺物として展示します。



中国、朝鮮半島から持ちこまれた土器



鉄器生産に用いた道具

◆関連講座

場所：3階多目的ホール 料金：無料 定員：180名

壱岐学講座

◎発掘された日本列島 2017

講師：水ノ江 和同（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）

日時：平成30年1月14日（日）14:00～

特別講座

◎元の沈没船発見から水中考古学の拠点へ

講師：中田 敦之（松浦市立水中考古学研究センター 所長）

日時：平成30年1月28日（日）14:00～

特別講座

◎壱岐島第三の弥生集落 車出遺跡群

講師：松見 裕二（壱岐市教育委員会 文化財課 係長）

日時：平成30年2月25日（日）14:00～

◆開館スケジュール

平成30年1月1日～1月31日							平成30年2月1日～3月3日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
		休館日	休館日	休館日	休館日								
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	1	2	3
							休館日	休館日	休館日	休館日			

1/5(金)～1/8(月祝)

常設展一部閉鎖します。常設展観覧料は無料となります。

1/10(水)～1/12(金)

臨時休館します。

1/15(月)、22(月)、29(月)、
2/5(月)、13(火)、19(月)

特別開館します。

2/27(火)～3/1(木)

臨時休館します。

壱岐 iki ひとつくちメモ

壱岐の温泉でホッとひと息 ゆのちと 湯本温泉

壱岐島の北西岸に位置する湯本温泉は、神功皇后が発見し、我が子である応神天皇に産湯を使わせたと伝えられる日本屈指の古湯です。小島が点々と浮かぶ湯本湾に美しい夕日が沈む風光明媚な温泉郷には、7軒の旅館と4軒の温泉施設があります。

このリリースに関するお問い合わせ

※配信停止などご要望がございましたら、お手数をお掛けしますが、下記メールアドレスまでお知らせ下さい。

壱岐市立一支国博物館

担当：広報営業 松嶋

〒811-5322
長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1
TEL：0920-45-2731 FAX：0920-45-2749
m.matsushima@iki-haku.jp
http://www.iki-haku.jp/